

《編集後記》

ようやく「光彩」第6号をお届けできることになりました。あの阪神大震災は、多くの被害をもたらしました。亡くなった方、家族を失った方、家を失った方、研究装置を失った方などの情報を得る度に心が痛みます。SPring-8利用者懇談会の事務局があるポートアイランドも甚大な被害を受け、事務局の機能もしばらく停止し、編集作業に多くの支障が生じました。しかし、多くの方の尽力で復旧作業も進みました。(財)高輝度光科学研究センターも3月中旬に現地に移転します。SPring-8利用者懇談会も、運営委員の改選も終わり、新役員のもとで更に発展しようとしています。

幸いにも、SPring-8の建設地はほとんど被害もなく、建設も予定通りに進行するようです。ユーザーとしては、SPring-8の利用に向けての活動をこれまで以上に進めて、利用開始時からできるだけ多くの成果が出せるようにしていく必要があります。SPring-8利用者懇談会に広報誌「光彩」の役割がますます重要になってきます。会員への情報提供だけでなく、会員からの情報もできるだけ多く掲載したいと思っています。会員の皆さんからの情報提供、投稿をお願いします。

辻 和彦

1月17日未明、突き上げるような衝撃に眠りを破られその後の激しい振動になすすべもなかった日からもう1カ月以上が過ぎました。その後の神戸を中心とする惨状は会員の皆さんがテレビその他でお知りになった通りです。我家といえば、家具が投げ出されてあたり一面足の踏み場もない中を子供達の安否を確かめるため大声で部屋をはい出したあの日の出来事は夢ではなかったのか？幸い家族に怪我もなく今はほぼ元の生活に戻れましたが一度味わったあの恐怖感による子供の精神的なダメージが心配されます。本来なら1時間で済む通勤に倍近い時間をさきながら毎日往復する道すがら目にするものは軒並み倒壊するか傾いた家屋、というのは大人でも気が滅入ります。日常生活でみるこのような異常な風景の裏にはそこに住む(んでいた)人間の平常ならざる生活が進行しています。震災直後は気が張っているから(一種の興奮状態)どうにかやって行けるけれど時間が立つにつれてこの惨めな風景・状態はそこに住む人間にじわじわとボデーブローのように効いてくるでしょう。神戸・芦屋・西宮の人達に本当の惨めさが襲ってくるのはまだまだこれからです……。さて「光彩」ですが、地震直後事務局のあるあの我が近代的なポートアイランドはほとんど孤立し、地面は一面泥の海でした。事務局の稲垣さんは難を逃れて和歌山へ疎開。ようやく連絡がとれて1月30日に事務局で落ち合いました。JASRI はそれこそてんやわんやでした。そんな中でJASRI の林田専務から「財団は東京の原研の借り事務所へ撤収し、そのまま時期を見て西播磨の現地へ移転(つまりもうポートアイランドへは戻らないということ)。ここからの引っ越しの目処は3月15日前後」と聞きました。電気があるから当面の作業は稲垣さんに頼むということにしても、今後利用者懇談会にとって事務局をどこにするか大問題でした(結局、4月から播磨の現地に置くことになり、また、優秀な事務能力を発揮していた稲垣さんも交代ということになりました)。このような混乱のなか、もう一人の編集幹事である辻さんから第6号の編集作業を全面的に引き受ける旨の連絡をもらい地獄で仏にあったような心境でお願いすることにしました。そんなわけで第6号に対する私の寄与は震災直後(?)に事務局へ出向いたことを除けば1回打ち合わせのために事務局へ顔を出したこととこの編集後記を書いたことくらいです。残念。

難波孝夫

SPring-8利用者懇談会が発足し、私が事務局員として勤務させていただくようになってから、もう2年が過ぎようとしています。勤務したての頃は、パソコンは素人、書籍(「光彩」)の発行等もちろん初めてで、戸惑うことばかりでした。そんな私の最初の仕事は、会員の方々の登録書をもとにデータベースを作成することでした。作業を始めて何日も過ぎ、やっと500件程入力済んだ日の帰りがけのことでした。入力していたはずのデータ100件余りが、FDの故障により突然消えてしまったのでした。翌日からまた泣きそうになりながら入力し直した事は昨日のことのよう覚えています。

この度の阪神・淡路大震災により、事務局のありますポートアイランドも液状化現象などの大きな被害を受け、事務所の中も当初はめちゃめちゃの状態だったそうです。地震の後自宅待機との連絡があり、仕事の再開は1月30日からとなりました。仕事再開といいますが通勤のための交通手段は全くなく、1ヶ月半位は瓦礫の中を自宅から1時間かけての自転車通勤が続きました。また、ライフラインは寸断されていたので、自宅、事務所ともに水、ガスが使えない状態で水くみも日課となっていました。(自宅においては、今もガスは使えない状態です。)このような状況の中仕事は捗らず、会員の皆様には多々ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

地震を機に、3月17日財団は播磨に移転します。

私事ではありますが、通勤が不可能になりやむ終えず3月31日で事務局を辞めさせていただきます。まだまだやり残した仕事はたくさんあるのですが、後任の方にきちんとバトンをお渡しして引継ぎしたいと思います。今回で「光彩」の編集も最後となり、辻先生のご配慮でこのような場をいただきうれしく思っています。また、会長をはじめ幹事の先生方には多々ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、大変よくしていただきました。この場をかりてお礼を申し上げます。

これから先SPring-8が完成し、財団が研究所になり、皆様の研究成果が挙げられますよう心からお祈りいたします。2年間ありがとうございました。

稲垣富美

「光彩」 No. 6

1995年3月発行

発行 SPring-8利用者懇談会
〒678-12 兵庫県赤穂郡上郡町金出地1503-1
(財)高輝度光科学研究センター内
TEL 07915-5-0970 FAX 07915-8-0975

印刷 アイテム ジャパン
〒658 兵庫県神戸市東灘区深江本町3-1-6
TEL 078-413-5400 FAX 078-413-5335